

ふくしの

第170号

平成22年9月1日発行

鹿児島

ふれあいネットワーク

<http://www.kaken-shakyo.jp/>

ひろば



霧島市サマーボランティア研修
於:「フラワーホームデイサービスセンター」

県社協情報

相互交流の更なる発展・充実に向けて …… 2

《地域と共に手をつなぐボランティア》

和泊町教職員福祉ボランティア講座 …… 3

長寿社会推進部情報

シルバー文化作品展が始まります …… 4

高齢者元気・ふれあい推進月間 …… 5

福祉サービス運営適正化委員会 …… 6

福祉機器展示相談センター案内 …… 7

福祉人材・研修センター情報

福祉の職場 ミニ面談会 開催 …… 8

施設福祉部情報

鹿児島県社会福祉振興基金貸付事業 …… 9

なのはな館からのお知らせ

高齢者中央大学夏期講座 ほか …… 10

介護実習・普及センター情報

10月～12月の介護講座案内 …… 10

《県共同募金会からのお知らせ》

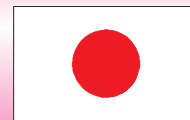
赤い羽根共同募金運動が始まります …… 11

インフォメーション …… 12

相互交流の更なる発展・充実に向けて



- ・「鹿児島県・全羅北道社会福祉協議会交流会議」の開催
- ・「第6期 全羅北道社会福祉施設従事者研修生」の受入れ



【鹿児島県・全羅北道社会福祉協議会交流会議】

当会と大韓民国 全羅北道社会福祉協議会は、両県・道民の福祉増進に寄与することを目的に、平成12年度から相互に社会福祉に関する情報交換や役職員等の交流を行っています。

交流開始から今年で10年を迎えたことから、相互交流の更なる発展と充実に向けた今後の取り組みを話し合うため「鹿児島県・全羅北道社会福祉協議会交流会議」を去る4月21日に開催し、全羅北道社会福祉協議会の徐金成会長ほか4人の役職員及び全羅北道庁の沈定衍福祉女性保健局長ほか1人が出席されました。



鹿児島県・全羅北道社会福祉協議会交流会議
가고시마현·전라북도사회복지협의회교류회의

この会議では、平成22年度以降の交流計画についての趣旨説明が行われた後、徐会長と溝口会長が交流計画に関する覚書を交わしました。その後、鹿児島県行政や当会の福祉関係施策・予算等の説明、意見交換等を行いました。

また、県保健福祉部長への表敬訪問と意見交換をはじめ、県中央児童相談所と子ども総合療育センターなどを視察訪問しました。さらに送別晩餐会では、昨年度に全羅北道を訪問した県社協役職員とも交流を深めるなどして4月23日に帰国しました。

【第6期 全羅北道社会福祉施設従事者研修】

「全羅北道社会福祉施設従事者研修生」10人が、去る6月20日から25日の6日間の日程で来鹿し、県内の社会福祉施設で研修を行いました。

研修生は研修受入協力施設の方々との顔合わせの後、高齢者福祉施設2カ所に3人ずつ、児童福祉施設と障害者福祉施設に各2人ずつに別れて2泊3日の宿泊研修に移りました。

それぞれの施設に着いた研修生は、研修先施設の概要や経営・運営方針及び業務の流れ等について説明を受けた後、施設職員とともに利用者への食事や移動など日常生活の介護及びレクリエーション等の研修を行いました。また、研修後は、指導担当職員等との意見交換を通して、日本の福祉事情の把握に努めるとともに、利用者とも積極的に交流を深めるなど有意義な研修となりました。

なお、今回の研修生受入れに際し、ご支援・ご協力いただいた社会福祉施設の関係各位に深くお礼申し上げます。



【受入協力施設】

高齢者関係福祉施設	社会福祉法人清風会 特別養護老人ホーム「とそ清風園」 社会福祉法人愛人会 特別養護老人ホーム「慈眼寺園」
児童関係福祉施設	社会福祉法人明澈会 児童養護施設「南さつま子どもの家」
障害関係福祉施設	社会福祉法人敬和会 知的障害者援護施設「第一・第二知覧育成園」



和泊町

福祉ボランティア講座

学校における福祉教育の充実をめざして

鹿児島県社会福祉協議会は平成12年度からボランティア活動の普及・啓発を図るため7月から8月を「ボランティア体験月間」として活動を推進しています。

市町村では福祉教育の充実を図るため学校の教職員や市民を対象にした「福祉ボランティア講座」及び小学生・中学生・高校生のボランティア体験学習を開催し充実した活動が展開されています。毎年ボランティア体験月間には200団体・4,000人前後の小・中・高校生が多岐にわたるボランティア体験活動に参加しています。

特に和泊町社会福祉協議会は平成17年度から毎年夏休み期間を利用し「教職員福祉ボランティア講座」を開催しています。今年度は7月28日和泊町防災センター等で教職員15名を対象に実施しました。

研修内容は学校における福祉教育のすすめ方や、福祉施設でのボランティア体験、災害時の非常炊き出し体験、福祉用具を使った高齢者疑似体験など充実した講座が開催されました。このような研修会が県内各市町村で開かれるよう期待します。



紙すき体験



保育所での教材づくり



災害時の炊き出し体験



アイマスク体験

1 学校における福祉教育のすすめ方

福祉教育には、3つの学習領域（学校の児童・生徒、地域住民、福祉教育専門家）があり、学校教育では、ノーマライゼーションの理念に基づき児童・生徒一人ひとりがお互い尊重し、認め合い、他人への思いやりの心がもてるような指導が必要です。

特に学校では「福祉」の観点に立って、すべての教科、領域で学習させ、総合的な学習の時間を活用し推進する必要があります。

また、施設訪問や手話・点字等の体験学習、疑似体験活動では、体験学習の目的を明確にし、子どもたちに主体的に考えさせ、振り返りをしっかりと行うことが重要です。

2 福祉施設でのボランティア体験

参加者が2グループに分かれて、和泊保育所と障害者就労支援施設「さねん」で、ボランティア体験をしました。保育所では、保育教材づくりに挑戦しすばらしい教材ができました。

「さねん」では、管理者の外山真司さんから施設の概要や作業内容等について説明を受け、施設利用者と一緒に牛乳の空き箱を利用した「紙すき体験」をしました。参加者は、再生された葉書に大喜び。

ボランティア体験とエコ体験で施設利用者との交流を深めました。

3 脳のトレーニング体験

災害時の非常炊き出し体験や車椅子、アイマスク、高齢者シュミレーターなど福祉機材を使った高齢者疑似体験、認知症予防のための「脳のトレーニング体験」に挑戦しました。

特に「脳のトレーニング体験」では、①脳の司令塔、前頭前野を鍛える活動 ②脳の診断テスト（記憶力、判断力、集中力など） ③あなたの脳は何十代？ など教材を使って体験しました。

また、和泊町では元気高齢者を対象に、毎週土曜日、認知症予防のための教室を開設し、町民から大変喜ばれています。

◆活動についての問い合わせ先◆

和泊町社会福祉協議会

(TEL 0997 - 92 - 2299)

〒891 - 9112 大島郡和泊町字石川平 39 - 3 (社会福祉センター)

九月・十月は 「高齢者元気・ふれあい推進月間」です

本県は、全国平均に比べて約十年先行する形で高齢化が進んでいます。

そのため、高齢者の方々が、長年の経験の中で培ってこられた知識や技能を活かして、地域社会の担い手として、生きがいづくり、健康づくり、地域づくり、主体的に参加していただくことが求められています。

県では、平成二十年十月に本県で開催された「ねんりんピックかごしま大会」において醸成された高齢者の生きがい・健康づくりに対する気運を今後の継続的な活動につなげ、高齢者の生きがいづくり、健康づくり等の必要性や重要性に関する県民の意識高揚を図る



伊佐市老連ねんりんスポーツ大会(H21.10.1)

主な取組内容

- ◆ 関連行事の集中実施
 - ・高齢者の生きがいづくり・健康づくり等に関する行事をできるだけ9月・10月に集中実施
- ◆ 高齢者の生きがいづくり等に関する意識の啓発
 - ・「高齢者元気・ふれあい推進月間」の幟(ノボリ)をイベント会場等で掲出
 - ・広報媒体、ホームページ、チラシ等による広報
- ◆ 「ねんりん」の文字の活用
 - ・高齢者関連の行事等にできるだけ「ねんりん」の文字を使用
- ◆ 「高齢者元気・ふれあい推進員」による意識の啓発
 - ・各市町村の「高齢者元気・ふれあい推進員」を通じて、生きがいづくり、健康づくり等の必要性などのPR



ため、昨年度から九月・十月を「高齢者元気・ふれあい推進月間」と定めました。この月間における主な取組としては、高齢者関連の行事を集中的に実施するとともに、各イベント会場にノボリを掲げたり、チラシの配布等の広報活動を行います。また、通年の取組として、元気な高齢者をイメージする「ねんりん」の文字を高齢者関連行事に積極的に活用しています。

昨年度は、県内の市町村や関係機関・団体等の御協力をいただき、この月間に八十七の高齢者のスポーツ・文化等の関連行事が開催され、総勢約六万人の方々に参加していただきました。本年度も、県内各地において、この月間を中心に様々な高齢者の関連行事等が開催されますので、是非参加・協力していただきますようお願いいたします。



～ねんりんピック鹿児島メモリアル事業～
種子島地区スポーツ大会(H21.10.27)

「高齢者元気・ふれあい推進員」によるPR

「団塊の世代」の高齢化等に伴う今後の本格的な超高齢社会に対応するためには、高齢者の生きがいづくりや社会参加等をさらに積極的に推進しなければなりません。

そのためには、多くの県民の方々に、高齢者の生きがいづくりや健康づくり等の必要性に対する理解や関心を深めていただく必要があります。

県では、日頃から県内の各地域で高齢者の生きがいづくり等に関わっておられる方や老人クラブのリーダーの方など全市町村で百八人の方々に「高齢者元気・ふれあい推進員」になっていただき、「高齢者元気・ふ

れあい推進月間」のPR活動や、各種行事等への参加・協力などをいただいているところです。



さくらじまん

「高齢者元気・ふれあい推進員」の方々の活動や、協働の地域社会づくり」に対する県民の方々をはじめ社会福祉協議会、老人クラブ等のお力添えが、「高齢者の方々が地域を支える人材としての役割を發揮しながら、生きがいを持って、健やかで安心して暮らせる地域づくり」につながることを期待しています。

問い合わせ先

鹿児島県 県民生活局
長寿・生きがい推進室

〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
直通電話：099-286-2568
F A X：099-286-5524
e-mail:k-tyoujyu@pref.kagoshima.lg.jp



福祉サービス運営適正化委員会

福祉サービスに関する苦情等の受付状況

運営適正化委員会は、社会福祉法第83条に基づき、平成12年度から鹿児島県社会福祉協議会に設置されている福祉サービスの苦情相談窓口です。

これまで、運営適正化委員会に寄せられた苦情等の受付件数は、表1のとおりで、延べ249件の苦情が寄せられています。その中でも、高齢者分野と障害者分野が大半を占めています。(表2)

また、表3は、苦情の内容を分類したものです。「職員の接遇」や「サービスの質や量」に関することが全体の48%、121件となっています。

苦情の申出については、事業者段階で申出人、苦情受付担当者、苦情解決責任者、また必要があれば公正・中立な立場の第三者委員も一緒に話し合いによる解決を図ることが第一義です。それでも解決しない場合や事業者と直接言いにくい時に、運営適正化委員会へご相談いただくことになっています。

お気軽にお問い合わせください。

表1 苦情等の受付件数(年度別)

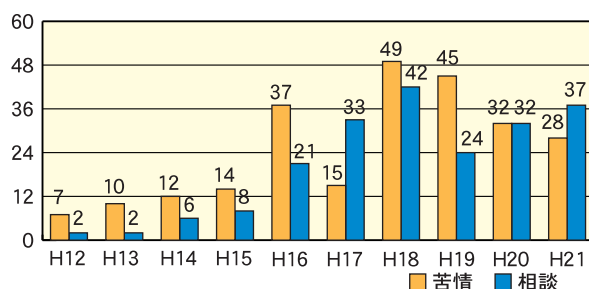


表2 福祉サービスの種類

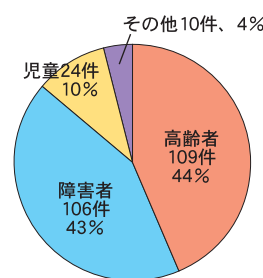
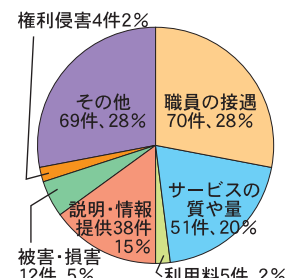


表3 苦情の内容



福祉サービスに関する

相談・苦情解決事業研修会(初級編)

- 日時 平成22年10月6日(水) 13:00~16:30
- 場所 かごしま県民交流センター1階県民ホール
- 定員 500名(要申込)
(定員になり次第、締め切ります)
- 参加費 2,000円
- 対象者 福祉サービス事業所の苦情担当者等

- 内容
 - 事例発表 「企業における苦情対応と展開について」
 (株)NTTドコモ CS推進部 小菅 浩幸氏
 - トークセッション 「苦情対応に求められる事業所のあり方」
 苦情解決委員会 委員長 久永 繁夫氏
 (株)NTTドコモ CS推進部 小菅 浩幸氏

詳細は、ホームページをご覧ください ▶ <http://www.kaken-shakyo.jp/index.html>

相談時間 月~金曜日 9:00~16:00
(ただし、祝日・12/29~1/3除く)

相談方法 電話・来所・FAX・Eメール

福祉サービス運営適正化委員会

TEL 099-286-2200
 FAX 099-257-5707
 E-mail tekisei@kaken-shakyo.jp

【事務局：鹿児島県社会福祉協議会 長寿社会推進部】 県社会福祉センター5階

鹿児島県社会福祉協議会 福祉機器展示相談センター

見て!

触れて!

体験して!

高齢者や体の不自由な方々の自立を助け、また、介護する方の負担を軽減するための福祉機器を約1,000点展示紹介しています。

鹿児島市鴨池新町 1-7

県社会福祉センター別館

☎099(253)1294

開館日 月曜日～金曜日

第2・4土曜日及び翌日の日曜日
(ただし、祝日と年末年始の休日は休みます。)

時間 9:00～17:00(入館は16:30まで)

●移動機器

車椅子、杖、歩行者、リフト



●ベッド・マットレス

電動ベッド、エアマット、ウォーターベッド



●階段昇降機・段差解消機



●入浴用品

シャワーいす、滑り止め用品、洗髪器



●トイレ・排泄用品

ポータブルトイレ、便座、便器、尿器



●自助具

食食用、整容用、身だしなみ用、更衣・入浴用



その他の福祉機器

区分	主な機器名
介護用品	おむつ、失禁パンツ、吸いのみ器
住宅設備	手すり、リフト、空気清浄機
衣類	介護用寝巻、食食用エプロン
義肢・訓練具	義手、義装、訓練具
コミュニケーション機器	補聴器類、視覚障害者用機器 伝達機器、警報機器

施設の概要

相談コーナー	・福祉機器専門相談員2名 ・保健師1名(月・火・金13:00～16:00)
ビデオコーナー	・介護、認知症関連:約360本 ・無料貸し出し:1人2本(1週間以内)
研修コーナー	・椅子60席 ・ビデオ上映可能

▼展示センター外観



▼福祉機器展示相談センター内



県介護実習・普及センター(かごしま県民交流センター内) ☎(099)221-6616)でも福祉機器の展示相談を行っています。

～あなたの就職活動をお手伝いします!! 遠慮なくご参加ください～

平成
22
年度

福祉の職場 三二面談会

—同時開催— 求職登録・職場体験・資格取得等相談コーナー

福祉職場の人事担当者と求職者との個別面談会を県内各地域で開催します。

就職面談会

13:00～16:00

(受付: 12:30～)

参加費

無料

当日受付

事前予約不要



前年度「就職面接会」風景

開催期日 及び 場所

開催地域	開催日	開催場所 (開催施設)
始良・伊佐 (霧島市)	平成22年 9月24日 (金)	霧島市国分シビックセンター
奄美 (奄美市)	10月14日 (木)	奄美サンプラザホテル
北薩 (薩摩川内市)	11月25日 (木)	ホテル 太陽パレス
大隅 (鹿屋市)	平成23年 1月19日 (水)	さつき苑
北薩 (出水市)	1月28日 (金)	出水市中央公民館

福祉の職場 面談会

開催地域	開催日	開催場所 (開催施設)
鹿児島 (鹿児島市)	平成23年2月9日 (水)	県民交流センター



参加
対象者

福祉の職場への就職希望者
(一般の方及び大学・短大・専門学校生等
<平成23年3月卒業予定者>)

主催

鹿児島県、鹿児島県社会福祉協議会

お問い合わせ先

鹿児島県社会福祉協議会福祉人材・研修センター
〒890-8517 鹿児島市鴨池新町1番7号
☎ 099-258-7888 FAX 099-250-9363
E-mail: jinzai4@kaken-shakyo.jp

福祉職場就職支援講座のご案内

福祉職場に就職・復職を希望する方を対象に、福祉についての理解を深めていただくとともに、福祉職場で働くために必要な知識や技術及び就職活動の方法等を学ぶための講座を開催します。

日時 平成22年11月6日、20日、27日の各土曜日 (全4回)

午後1:15～4:30

会場 かごしま県民交流センター 介護実習室

定員 40人 **受講料** 無料

お問い合わせ先 鹿児島県社会福祉協議会
福祉人材・研修センター
TEL 099-258-7888

講座内容

- ①福祉の基礎知識
 - ②看護・介護の基礎知識
 - ③介護の方法と体験 (演習)
 - ④福祉職場就職相談会 (講話及び個別相談)
- (※講座内容は予定のため、内容を変更する場合があります。)

民間社会福祉施設の増改築、補修、設備の改善ならびに特殊備品の購入等に必要な資金の貸付を行っています。

○貸付事業の種類

1 民間社会福祉振興資金貸付事業

■貸付対象者・対象事業等

- ・貸付対象者は、社会福祉法第2条に定められた社会福祉事業を営むもので、本会の会員であること。
- ・貸付対象事業は、社会福祉施設の増改築、補修および設備の改善ならびに備品等の購入を行う事業であること。

■貸付条件（※今年度から貸付限度額を増額改正しました。）

貸付限度額：750万円以内

ただし、貸付額は原則として事業に要する経費（補助金および福祉医療機構の借入がある場合はその額を差し引いた額）の8割以内

償還期限：最長7年以内（貸付額による）

償還：（据置期間3ヶ月経過後）半年賦または補助金交付後一括返済

利息：年1.5%、ただし据置期間中は無利子

2 社会福祉施設建設費つなぎ資金貸付事業

■貸付対象者・対象事業等

- ・社会福祉法人等が社会福祉施設の増改築等のため必要とする資金であり、次の条件の1件以上を具備するもの。
- ① 法的または制度的な補助金による事業
- ② 福祉医療機構借入による事業

■貸付条件

貸付限度額：3,000万円以内

ただし、貸付額は法的または制度的補助申請額および福祉医療機構借入申請額の合計額の2分の1以内

貸付時期：貸付対象で補助事業の場合、交付決定日以後とし、福祉医療機構借入の場合は、県が申込書を達した日以後

償還期限：補助金または借入金のうち、いずれか早い資金の交付があった日から5日以内に一括償還

利息：年3%

お問い合わせ先

鹿児島県社会福祉協議会 施設福祉部

〒890-8517 鹿児島市鴨池新町1-7（県社会福祉センター4階）

※当事業の運営要綱・運営要領・様式が必要な場合は、次のメールアドレスにお申し込みください。

E-mail shisetsu1@kaken-shakyo.jp

TEL 099-257-3855(内線410)

FAX 099-250-9358

安心を支えます

ボランティア活動保険

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償

<http://www.fukushihoken.co.jp>

特長

- 活動場所と自宅との往復途上の事故も補償
- 熱中症(日射病・熱射病)による障害も補償
- ボランティア自身の食中毒や特定感染症も補償
- 地震など天災によるケガも補償(天災タイプご加入の場合)



ボランティア行事用保険

地域福祉活動の一環として行うボランティア活動に関する各種行事におけるケガや賠償責任を補償!

福祉サービス総合補償

ヘルパー・ケアマネージャーなどの活動中のケガや賠償責任を補償!

送迎サービス補償

送迎・移送サービス中の自動車事故などによるケガを補償!

年間保険料 | Aプラン...280円 Bプラン...420円 天災タイプもあります

※各プランの補償金額、補償内容などの詳細は、専用のパンフレットをご用意しておりますので、取扱代理店にお問い合わせください。

お申込み、お問合せはあなたの地域の社会福祉協議会へ

社会福祉法人
全国社会福祉協議会

この保険は、全国社会福祉協議会が保険会社と一括して契約を行う団体契約です。

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F

TEL:03(3581)4667 FAX:03(3581)4763

<引受幹事保険会社> 日本興亜損害保険株式会社

ふれあいプラザ なのはな館からのお知らせ

平成22年度

高齢者中央大学夏期講座

今年度の受講生は36名



受講生代表あいさつ



講座風景

毎年開講している「高齢者中央大学夏期講座」を、7月14日(水)～7月18日(日)の4泊5日で開講しました。この講座は、遠隔地などの理由で通年課程の講座を受講できない方を対象に行っています。今年も78歳を最高齢に県内各地から36名が受講しました。

開講式では、受講者を代表して森山道成氏から「現在、高齢者社会での生きがいづくり、地域貢献づくりなどが今からの問題、課題とされている。なのはな館の目的は、高齢者が元気で明るい生き生きとした生活を目指すことだと思えます。

今回の5日間の講座を受講し、また受講生の方々の意見を拝聴し、地域活動を元気のあるものにしたと思います。」との挨拶を頂きました。

受講生は「薩摩の古代史」「暮らしの中の法律問題」「思い出のメモディー」「脳障害と認知症の予防」「寝たきりにならないために」「つぼと健康」など12講義を受講されました。

寝たきりにならないために体を動かし、難しい法律問題に頭をひねり、認知症予防のための工夫に耳を傾け、どれもこれも生き生きと受講されていました。



第12回大会風景

- ◇ 期 日 平成22年11月7日(日)
- ◇ 場 所 なのはな館芝生広場
- ◇ チーム編成
 - ジュニア(15歳未満) 1名
 - ミドル(15歳以上60歳未満) 2名
 - シニア(60歳以上) 2名
- ◇ 参加料無料
- ◇ 申し込み・問い合わせ先
 - 鹿児島県ゲートボール協会
 - 鹿児島市鴨池二丁目30-8
 - 電話 099-803-0973
- ※ 各地区ゲートボール協会でも受け付けます。

参加チーム募集!!
第13回 三世代なのはなふれあいゲートボール大会

お問い合わせ先 指宿市東方 9300 番地 1 TEL0993 (27) 1221

10月～12月

介護講座のご案内

講座名	日 時	内 容	受講料
(専門職向け) 介護技術特別研修 (口腔ケア)	10月23日(土) 10:00～16:00	・口腔ケア ・嚥下障害	4,000円
(一般向け) 認知症講座	10月30日(土) 10:00～15:00	・認知症への理解・ケア ・グループワーク	500円
(専門職向け) 介護技術特別研修 (認知症ケア)	11月7日(日) 10:00～15:00	・認知症高齢者への理解 ・グループワーク	4,000円
(専門職向け) 介護基礎研修	11月10日(水)・11月11日(木) 10:00～16:30	・高齢者生活・行動心理 ・移動・移乗介助 ・排泄ケアほか	2,000円
(一般向け) 「介護の日」関連イベント	11月10日(水) 13:00～16:30 11月11日(木) 10:00～16:30	(介護保険10周年記念) ・講演会、シンポジウム ・介護体験講座 ・健康体操、映画上映会ほか	無 料
(一般向け) 介護食講座	11月11日(木)・11月13日(土) 10:00～14:50	・介護食と高齢期の栄養改善 ・調理実習	1,000円
(専門職向け) 訪問介護サービス提供責任者研修	11月19日(金)・11月20日(土) 10:00～16:00	・サービス提供責任者の役割、機能ほか	10,000円
(一般向け) 地域介護講座 (奄美市)	12月1日(水)・9:50～17:00 12月2日(木)・9:30～16:00	・介護保険の理解 ・介護予防・転倒防止 ・福祉用具を使って安心介護 ・食事介助・嚥下障害ほか	500円

*会場は、奄美市は奄美市社会福祉協議会、他は鹿児島市(県民交流センター)

*申込み方法等の詳しいことについては、鹿児島県介護実習・普及センターへお問い合わせ下さい。

お問い合わせ先

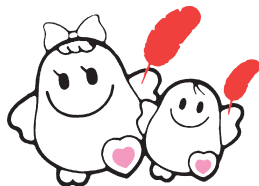
鹿児島県介護実習・普及センター

(運営：社会福祉法人鹿児島県社会福祉協議会)
〒892-0816 鹿児島市山下町14番50号(かごしま県民交流センター内)

TEL 099-221-6616 FAX 099-239-0384
E-mail kaigo@kagoshima-pac.jp
URL http://www.kagoshima-pac.jp

県共同募金会からのお知らせ

地域の福祉、みんなで参加



☎ 099 (257) 3750

URL <http://www.minc.ne.jp/akaihane>

赤い羽根共同募金運動が始まります

運動期間

10月1日～12月31日

今年も皆様のご協力をお願いいたします。

赤い羽根共同募金運動は、昭和22年にスタートし、今年で64回目を迎えます。これまで県民の皆様の善意に支えられ、地域福祉の向上のため一定の役割を果たして参りました。皆様方のご支援・ご協力に心から感謝申し上げます。

今年も10月1日から12月31日まで、赤い羽根共同募金運動が全国一斉に展開されます。この募金が「じぶんの町を良くするしくみ」として、県民の皆様のために活かされますよう、皆様の一層のご支援、ご協力をよろしくをお願いいたします。



〈平成22年度ポスター〉

◆一般募金の配分計画

区分	金額(千円)	内容
社会福祉協議会活動助成	171,417	
県社協活動事業	7,000	福祉活動の啓発、広報紙発行
市町村社協地域福祉活動事業	157,417	市町村における地域・在宅福祉サービス事業の活動促進
市町村社協「赤い羽根号」車両助成事業	7,000	市町村社協が地域福祉活動推進のため必要とする車両整備への助成
社会福祉施設助成	11,000	
高齢者・児童・障害児(者)等各種施設整備事業	11,000	建物増改築・補修、附帯設備・車両・備品等の整備
社会福祉団体等助成	31,000	
福祉団体活動事業	7,000	研修活動、広報紙発行等、福祉団体の活動支援、在宅障害児(者)療育活動支援
地域福祉活動支援事業	9,000	地域福祉活動に取り組む団体・グループ等への活動支援
新安心・安全福祉のまちづくり支援事業	15,000	地域の安心・安全を守り、高めるために自治会等が行う事業の支援
災害見舞金	4,892	火災、その他の災害被災者、遺族への見舞金
次年度運動準備金	25,000	次年度の募金運動準備経費
募金運動推進経費	26,481	募金運動資材購入、各支会分会等運動推進経費
災害等準備金積立金	9,000	大規模災害等に備える積立金
合計	278,790	

◆歳末たすけあい募金の配分計画

区分	金額(千円)	内容
地域歳末たすけあい	39,789	地域で支援を必要とする方がたへの金品贈呈、給食・入浴サービス、サロン事業等
NHK歳末たすけあい	7,502	在宅で支援を必要とする方がた、児童福祉施設、グループホーム等へ見舞品贈呈等
合計	47,291	

※配分計画が目標額を上回るのは、前年度の繰越金などを配分金に充てるためです。

22年度共同募金目標額

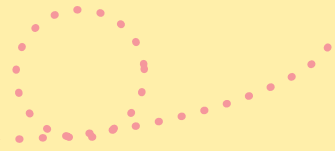
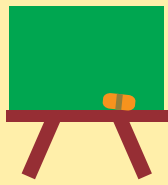
一般募金	266,211,000円
歳末たすけあい募金	46,789,000円
合計	313,000,000円

※共同募金の目標額は、社会福祉施設・団体等からの配分要望や、前年度の募金実績等に基づいた配分計画を参考に設定しています。

共同募金会では下記事業の助成について申請を受け付けます。

事業名	地域福祉活動支援事業	新安心・安全福祉のまちづくり支援事業
助成対象	県内で地域福祉活動に取り組むボランティアグループ・団体等	共同募金活動を実施している町内会等
受付窓口	鹿児島県共同募金会	各支会分会(市町村社会福祉協議会内)
受付期間	22年10月1日～11月30日	
助成決定時期	23年4月	
事業実施時期	23年4月～24年3月	

※詳しくは共同募金会 (URL <http://www.minc.ne.jp/akaihane>) または各支会分会(市町村社会福祉協議会内)にお尋ねください。

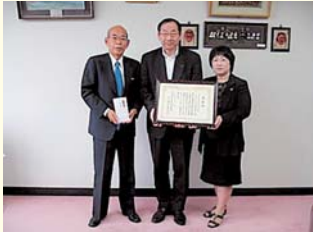


みなさまのご厚意に感謝いたします。



次の方がたから、寄付金等のご厚意が本会に寄せられました。ありがとうございました。
(平成22年6月～平成22年8月)

○アクサ生命保険株式会社 様



チャリティボーリング
大会益金を寄付された
鹿児島支社長
横関 満正 様(中央)と
鹿児島営業所
木原 和代 様(右)

○社団法人鹿児島県タクシー協会 様



車椅子を贈呈された
協会会長
羽仁 正次郎 様
(左から二人目)と
協会役員、県社協、
南さつま市社協の皆
様

みんなの力でストップ！ 振り込め詐欺

県内では、平成21年中に振り込め詐欺を104件認知し、被害金額は約1億6千万円に及んでいます。
本年は7月末現在で25件認知し、被害金額は約1千万円と減少しているものの、手口はより巧妙化してきており、油断は禁物です。
県民一人一人が振り込め詐欺撃退の二つのキャッチフレーズをしっかりと覚えて振り込め詐欺を撲滅しましょう。

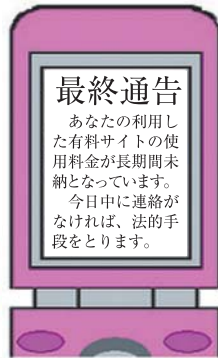


架空請求詐欺
有料サイト 突然請求 無視して相談
融資保証金詐欺
「融資します その前に金送れ」は 振り込め詐欺

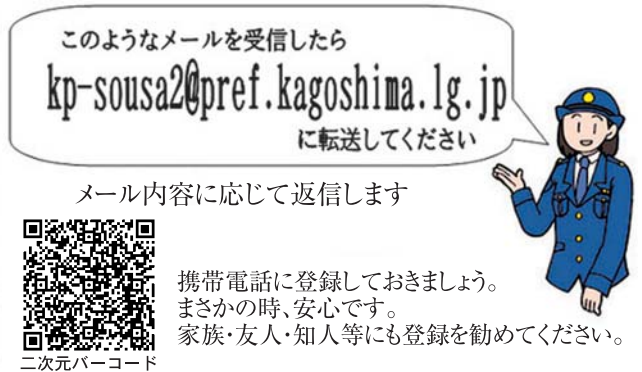
振り込め詐欺情報提供メールアドレス



いつの間にか 待て!



最終通告
あなたの利用した有料サイトの使用料金が長期間未納となっています。今日中に連絡がなければ、法的手段をとります。



このようなメールを受信したら
kp-sousa2@pref.kagoshima.lg.jp
に転送してください

メール内容に応じて返信します



携帯電話に登録しておきましょう。
まさかの時、安心です。
家族・友人・知人等にも登録を勧めてください。

二次元バーコード

警察総合相談窓口
#9110 または 099-254-9110

情報提供：鹿児島県警察

広報紙「ふくしのひろば」は
本会のホームページでもご覧になれます。
また、お問い合わせは総務部にて受け付けております。

TEL 099(257)3855 FAX 099(251)6779
E-mail soumu4@kaken-shakyo.jp
★この広報紙は、共同募金会の協力を得て発行されています。